

## ガイメック モルタル工法（表面被覆） 左官塗り

### 作業手順

清掃

高圧水洗浄

☆:コンクリート面に付着している、藻、油、泥、こけ 等を撤去し、適正に処分する。  
表面のレイタンス、ほこり、油等を取り除く。  
壁面の洗浄は洗浄水圧30MPaの高圧洗浄機で苔は確実に除去する。  
ガン口はトルネードタイプにし、コンクリート目荒らしも兼ねて高圧洗浄を行う。

湧水処理(水路)  
劣化部補修撤去  
下地処理

☆:湧水は急結モルタルを使用し確実に止水する。  
あらかじめ補修する部分の弱い箇所は取り除く。  
既存コンクリートに浮きや劣化している箇所は事前に撤去する。  
コンクリート面の劣化が著しく激しいときはモルタルで下地処理を行う。  
欠損部や水路の欠落日地部は事前にモルタル補修する。

プライマー塗布

☆:プライマー 塗布  
左官ブラシ等でムラの無いよう全面に均一に塗布する。  
被覆面積が大きい場合、噴霧器での散布も可能。(モルタル工法でのプライマー塗布は、プライマーのみ使用し、普通セメントを混ぜません。)  
ガイメックプライマーは水環境に長期間さらされても接着強さは低下しません。  
溶剤を含まず環境、人体への影響もありません。

モルタル塗り準備工

☆:プライマーの乾燥を必ず確認する。  
モルタル練り混ぜには必ずミキサーを使用する。  
ガイメックモルタル1袋(25kg)に対して  
ガイメックハイコート 1缶(5kg)を十分に練り混ぜる。  
高速ミキサーで混練りする場合には2分以上攪拌しない。  
混練りしたモルタルは1時間以内に使う。

モルタル塗り工

☆:まずコテ圧をかけてしごき塗りを行い、その後、粗付け、仕上げ塗りの順番で、所定の厚みまで仕上げる。  
練り置き後1時間以上経過したものは使用しない。  
気温5℃以下での施工は避ける。

養生

☆:施工中及び施工後の急激乾燥を避ける為の養生を行う。  
降雨が予想される場合 シート等で自然養生する。

完了



# ガイメックモルタル工法



使用資材 1:1

ガイメックモルタル(25kg)

ガイメックハイコート(5kg)



資材混入 1:1

ガイメックモルタル(25kg)

ガイメックハイコート(5kg)



資材攪拌状況

ハンドミキサーにて  
攪拌する。

# 作業状況

## 現場打ち用水路

着工前



## 高圧水洗浄作業

30MPでの高圧洗浄

噴射ガンはトルネード式で苔を確実に落とす。



## モルタル補修

川底部のひび割れ、クラック補修等。  
湧水がある場合、止水セメントで  
確実に止水する。



## プライマー塗布

塗布面積が大きい場合、噴霧器  
での散布も可能。



# 作業状況

## 現場打ち用水路

ガイメックモルタル塗布

粗付け

しごき塗り



粗付け

こて圧を十分に掛ける



仕上げ塗り



完成

## 作業状況

### 鉄塔基礎部コンクリート補修

ガイメックR工法

クラック補修



ガイメックモルタル工法

左官塗りモルタル補修(表面被覆)

目地部補修(ガイメックR工法)



プライマー塗布



ガイメックモルタル補修

左官塗りモルタル補修(表面被覆)

完了

